

67億円補正案 県が議会説明

きょう・あす臨時会

県は17日、県議会臨時会(18、19の両日)に向けた与野党への議案説明会を開き、新型コロナウイルス感染症対策にかかる約67億4千万円の第12次補正予算案を報告した。

質疑で喜友名智子氏(立憲おきなわ)は、時短要請を適切に守っていないにもかかわらず協力金を受給している飲食店があるとの情

報が寄せられていると指摘。県商工労働部の嘉数登部長は「県にもそうした通報が寄せられている。支給に当たっては問い合わせをして営業実態を確認している」と答えた。

同部は協力店舗が適切に時短要請を守っているか、引き続き確認するという。

渡久地修氏(共産)はコロナ感染拡大を受け、宿泊療養施設の確保に向けた予算状況について質疑。県保健医療部の担当者は、本年度内に1400室分の予算を確保しているとした。